測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：

測定ツール名：

対象教科：

測定内容の区分：

※同一の測定ツール名で複数レベルの難易度等の測定ツールを提供する場合は、当該難易度等の名称も記載すること。

| 測定しようとする資質・能力の具体的内容 | 設問数、出題形式等 | （参考）学習指導要領の関連項目 | |
| --- | --- | --- | --- |
| 領域又は事項 | 科目名及び内容 |
| ※　測定しようとする資質・能力について、「～できる」の記述文で具体的に記載すること。  ※　義務教育段階の学習内容の定着度合いを測定しようとする場合にはその旨を記載すること。  ※　特にポイントとなる箇所に下線を付すこと。 | 【設問数】　問（程度）  【出題形式】  ※　選択式、短答式、記述式の別を記載すること。  ※　リスニング試験やスピーキング試験で測定する場合はその旨を記載すること。  ※　該当するサンプル問題がある場合は、その旨を記載すること。 | ※　右記の領域又は事項の名称を記載すること。 | ※　学習指導要領における関連項目を転記すること。義務教育段階の学習内容の定着度合いを測定する場合は、中学校学習指導要領等の関連項目を転記すること。  ※　高等学校学習指導要領と中学校学習指導要領等の双方に関連する場合は、双方の関連項目を転記すること。 |

※　原則、各回の測定ツールごとに作成すること。

※　出題形式の短答式、記述式とはそれぞれ以下のような内容を指す。

短答式：解答にあまり幅の出ない語句や短い文、数値、式などで解答するもの

記述式：自ら解答を考え、文又は文章で解答するもの（１つに限定される正答を書くのではなく、複数の選択肢や考え方、答え方があるものなどについて、自分の考えを明確に書くものを含む。）